事務事業評価（平成27年度に実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事業★	事務事業名	事業の目的	H27 事業概要	H27 事業実績	H27決算 見込額	活動指標名 (業務量の指標)	単位	H27 目標	H27 実績	H28 目標	事業の 進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合 判定	判定理由	事業の 方向性	
133	市民経済部	保険年金課	03	01	02		年金事務費	国民年金に関する受付業務	国民年金に関する受付業務	被保険者の資格の取得・喪失などの受付及び高齢・障害・遺族等の基礎年金裁定請求事務を行った。	266	法定受託事務のため評価しない	-	-	-	-	A	A	A	A	A	A	法定受託事務のため、肅々と処理すべき事業である。	継続	
140	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07	★	敬老会開催費	・これまで社会に貢献してきた高齢者に対し、ねぎらい・感謝・尊敬の意を表し、長寿のお祝いをする。 ・社会参加の機会を多く持つことで、人生に生きがいを持ってもらう。	・敬老会の開催 ・米寿を迎える方への記念品の配布及び記念撮影の実施	・敬老会参加者:1,027人(対象者7,474人) ・米寿該当者:271名、記念品(地域振興券)換金率89.3%	5,415	①敬老会参加者数(対象者数) ②敬老会対象者の参加率	人	①1,230人(7,260) ②16.94%	①1,027人(7,474) ②13.7%	①1,095人(7,820) ②14.0%	B	B	C	C	B	B	B	高齢者の生きがい対策として継続していく必要があるが、参加率13.7%では、開催方法等を再考する必要がある。	改善(その他)
141	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		長寿祝訪問費	・これまで社会に貢献してきた高齢者に対し、ねぎらいの気持ちを直接伝えるとともに、長寿祝いを贈呈し今後も豊富な知識や経験を活かしてもらう。 ・また生きがいを持った生活を送ってもらう。	・99歳、100歳および最高齢者を対象に長寿祝訪問を実施 祝金(99歳、100歳3万円、最高齢者1万円)寿詞等を贈呈する	・長寿祝訪問者(99歳):24名 ・長寿祝訪問者(最高齢者):109歳	864	長寿訪問件数	人	24		C	B	B	C	B	B	B	対象者が増加していること等今後の事業の継続を含めて検討が必要である。	改善(その他)	
142	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07	★	老人クラブ活動等推進費	・高齢者が老人クラブ活動を通して健康で生きがいある生活の向上を図る	・健康づくり、介護予防活動の推進(シニアスポーツの実施) ・地域支え合い活動の推進(友愛訪問等の実施) ・文化・芸能活動の推進 ・会員加入促進運動	・スポーツ愛好部により各種大会を実施。延べ約2,000人の会員参加。 ・204名の家庭(90歳以上の高齢者・寝たきりの高齢者・一人暮らしの高齢者)を41の友愛訪問チーム182名が訪問し、地域の交流を深めた。 ・レクダンスの推進 ・3H運動の推進	7,762	老人クラブ加入者数	人	3,000	2,460	2,560	B	A	B	B	A	A	A	是非老人クラブに加入して活動したいと思える事業の検討とPRIに努め、魅力ある老人クラブにしていく。	継続
143	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		高齢者バス利用料金助成事業	・高齢者のバスの利用料を一部助成することで、社会活動の促進及び経済的負担の軽減を図る。	・75歳以上の在宅の高齢者に対し、年間100円券33枚を助成する。	・対象者:6,746人 ・申請者:2,243人 ・乗車券利用枚数:31,603枚	3,564	助成件数	%	42	33	35	B	B	B	B	B	B	B	利用しやすいコースや時間設定を、今後バス担当部署と検討していく必要がある。	改善(その他)
144	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07	★	湖西市はつらつセンター管理運営事業	・高齢者の健康増進と積極的な社会活動の促進 ・高齢者の生きがい活動の拠点施設提供	・高齢者が気軽に立ち寄り、会話やゲーム等を行いながら楽しむ場の提供 ・子どもとの世代間交流を通じ、閉じこもりや認知症予防 ・夜間施設利用貸出 ・施設管理や運営を行う ・介護予防指導員2名で管理	・介護予防事業、生きがい対策事業 ・毎週木曜着てこや、 ・第3金曜日地場立ち寄り処(料理教室)を開催 ・年間利用者数:16,215人	4,952	施設利用者数	人	17,200	18,505	17,300	B	B	C	C	B	B	B	現在、市が直営で施設管理をしているが、将来的にどのような管理方法が良いか検討する必要がある。	改善(その他)
145	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		施設入浴サービス事業	・高齢者福祉の充実 ・介護保険制度の補完的サービス ・疾病予防 ・住み慣れた地域や在宅での生活維持	・家庭での入浴、訪問入浴が困難な寝たきりの方に対し実施。 ・介護保険施設で対応不可の場合にも対応 ・入浴が出来ることで清潔が保て、感染予防や疾病予防、悪化防止をする	実績なし	0	新規利用者数	人	1	0	1	D	C	C	D	D	D	サービス利用者がほとんどなく、市で実施する必要がないと思われる。	改善(実施主体の変更)	
146	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	・高齢者福祉の充実 ・寝具洗濯にて疾病予防 ・住み慣れた地域や在宅での生活維持	・寝たきり高齢者や独居高齢者など寝具の衛生が困難な方に対し実施。 ・寝具が衛生に保てるようにし、疾病予防に努める	高齢者福祉に寄与。住み慣れた地域在宅での生活維持に寄与。利用者:8人	86	新規利用者数	人	2	1	2	B	B	A	B	A	A	高齢者が在宅で生活をしていく上で困難な部分を援助するために必要なサービスである。	継続	
147	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		軽度生活援助事業	・高齢者福祉の充実 ・軽度な支援を行うことで、高齢者の自立生活の助長や介護予防につなげる。 ・住み慣れた地域や在宅での生活維持 ・シルバー人材への委託とし、高齢者の社会参加や介護予防に寄与	・独居高齢者等へ買い物や日常生活の軽易な援助を行う。 ・随時相談申請一訪問確認にて実施。 ・内容としては、買い物や軽易な修繕等実施。生活に支障のある範囲のみで支援	高齢者福祉に寄与。住み慣れた地域在宅での生活維持や自立生活延長に寄与。シルバー人材の活用による高齢者の社会参加。利用者:13人	261	新規利用者数(実質数)	人	6	1	2	B	A	A	A	A	A	A	高齢者が在宅で生活をしていく上で困難な部分を援助するために必要なサービスである。	継続
148	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07	★	生きがい活動支援通所事業	・高齢者福祉の充実 ・社会孤独感の解消 ・生きがいを持ち介護予防を図る ・住み慣れた地域や在宅での生活維持	・介護予防が必要な高齢者等が隔週日帰り趣味活動・季節の行事・昼食等を楽しむ。 ・毎週、血圧測定等の体調チェックを行う。 ・自己負担1回100円(食事代、おやつ代等を含む) ・市内4か所の会場で実施 ・随時相談、申請後実施	社会福祉協議会に委託し職員2名派遣。利用者:118人	5,243	参加登録者数	人	130	122	130	B	B	B	B	B	B	B	高齢者が在宅で生活をしていく上で困難な部分を援助するために必要なサービスである。総合事業開始に伴い、今後利用者が減少することが考えられる。継続検討必要。	継続
149	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		ねたきり老人等紙オムツ助成事業	・高齢者福祉の充実 ・使用している紙オムツ購入に対し、その一部を助成することにより介護家庭の経済的負担軽減	・寝たきり高齢者等で常時紙オムツに排泄する方に対し、紙オムツ購入の一部を助成し、介護による経済的負担軽減を行う。 ・年4回引換え券郵送(月2,000円) ・随時相談申請一訪問確認実施	高齢者福祉に寄与。介護による経済的負担軽減。利用者178人	3,740	新規利用者数	人	60	46	55	B	A	B	B	A	A	A	高齢者が在宅で生活をしていく上で困難な部分を援助するために必要なサービスである。	継続
150	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		デイサービスセンター建設費借入金償還費補助	「社会福祉法人の助成に関する条例」に基づき助成金を支給する	平成12年度デイサービスセンター光湖苑建設事業借入金償還金の補助。 ・元金 県:1/2×60% 市:1/2 法人:1/2×40% ・利子 県:1/3×60% 市:2/3 法人:1/3×40% 平成14年度開始。平成33年度終了	市助成額:1,259,950円	1,260	-	-	-	-	A	B	A	A	A	A	社会福祉法第58条第1項の規定に基づく補助金	継続		
151	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		こさい高齢者プラン策定事業	こさい高齢者プラン(H30~H32)の策定	プランは3年毎に策定するものであり、平成26年度にプランを策定したことから平成27年度は事業を行わなかった。	-	0	-	-	-	-	A	B	A	A	A	A	老人保健法、老人福祉法及び介護保険法にそれぞれ規定された計画をまとめたものを策定する。	継続		
152	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07	★	緊急通報システム運営事業	・独居高齢者等に対し緊急通報装置を貸し出し、急病や災害等の緊急時に迅速に対応できるようにする。 ・住み慣れた地域、在宅で安心した生活が送れるよう支援する	・緊急通報装置の貸し出しと設置 ・緊急時の対応と月1回の同い電話 ・24時間対応の健康相談 ・随時相談申請、確認訪問にて実施	高齢者福祉に寄与。住み慣れた地域在宅での生活維持に寄与。緊急時の生命維持対応。利用者194人	5,708	新規利用者数	人	35	27	30	A	B	A	B	A	A	A	高齢者が在宅で生活をしていく上で困難な部分を援助するために必要なサービスである。	継続
153	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		生活管理指導短期宿泊事業	・高齢者福祉に寄与 ・介護保険外の虚弱な高齢者を対象にショートステイを実施し、自立生活の助長と介護予防	・市内介護保険関連施設への短期間宿泊実施 ・介護者の冠婚葬祭等やむぎえない用事で虚弱な高齢者を見ることが出来ない場合に利用できる。 ・虐待等緊急事態対応にも利用	市内ショートステイ可能な施設に委託。利用者:1人	43	利用者数	人	2	1	1	A	B	A	A	A	A	高齢者が在宅で生活をしていく上で困難な部分を援助するために必要なサービスである。	継続	
154	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		生活管理指導員派遣事業	・介護保険外の独居高齢者や虚弱高齢者を対象に日常生活上の援助としてヘルパーが家事等を支援し、住み慣れた地域在宅で自立した生活が送れるよう支援する。	・調理や掃除等軽易な日常生活上の援助をヘルパーが行う。 ・連絡調整や相談助言も行う。 ・随時相談申請、状況確認し実施する	社会福祉協議会に委託しヘルパー派遣。利用者:10人	495	新規利用者数	人	3	3	5	B	B	B	B	B	B	高齢者が在宅で生活をしていく上で困難な部分を援助するために必要なサービスである。総合事業開始に伴い、今後利用者が減少する可能性あり。	継続	
157	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		高齢者福祉サービス施設管理費	湖西市世代間交流室の屋根修繕。	湖西市世代間交流室の屋根部から雨漏りが発生し、施設管理運営に支障をきたすことから修繕を行った。	雨漏り修繕:179,280円	180	27年度単年度で終了	-	-	-	-	A	A	A	A	A	A	経年劣化による雨漏りが発生し、施設の維持に支障が生じたために実施が必要となったものである。	完了	

事務事業評価（平成27年度に実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事業★	事務事業名	事業の目的	H27 事業概要	H27 事業実績	H27決算 見込額	活動指標名 (業務量的指標)	単位	H27 目標	H27 実績	H28 目標	事業の 進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合 判定	判定理由	事業の 方向性
158	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		老人措置事務	65歳以上の老人で、身体上又は環境上の理由により自宅における生活が困難な老人を老人ホームに入所させ、当該老人の福祉の向上を図る。	・老人ホーム入所に係る入所退所等の事務手続きを行う。 ・老人ホーム入所者に対し、ケース訪問を実施する。(年1回程度)	措置人数:新規入所1人、退所1人、継続入所7人	861	相談に対する対応率	%	100	100	100		A	A	B	A	A	老人福祉法に基づく事務である。	継続
159	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07		養護老人ホーム措置費	65歳以上の老人で、身体上又は環境上の理由により自宅における生活が困難な老人を老人ホームに入所させ、当該老人の福祉の向上を図る。	・老人保護措置費の支払い事務	措置人数:9人(実人数)	20,544	—	—	—	—	—		A	A	A	A	A	老人福祉法に基づく事務である。	継続
162	健康福祉部	長寿介護課	03	01	07	★	老人福祉センター費	高齢者の健康の増進や、生きがいづくり・仲間づくりの場の提供	老人福祉センター管理運営 介護予防教室の企画立案、実施 ・はればれレクリエーション ・エンディングノートの書き方教室 ・専修教室 ・シニアメイク教室 ・回想法教室 ・陶芸茶道教室 ・マネープラン教室 ・整理収納教室	・施設利用者:32,123人 ・老人福祉センターたよりの発行 ・介護予防教室受講者:549人	12,295	館内利用者数	人	31,100	32,123	32,500	A	A	A	B	A	A	湖西の高齢者の交流拠点として、今後も管理運営していく必要がある。	継続
164	健康福祉部	長寿介護課	03	01	08		社会福祉法人利用者負担減免対策事業費	低所得者等の利用者負担を軽減するため、対象者に対する利用者負担額の軽減を行う社会福祉法人に対して補助を行う。	低所得者等に対し、社会福祉法人が提供する介護サービス費の利用者負担について減免を実施した社会福祉法人へ補助する。	4法人に対し、278,391円の補助を実施。		対象者数	人	15	10	11	D	A	A	B	A	A	低所得者の介護サービスの利用促進を図る制度である。	継続
165	健康福祉部	長寿介護課	03	01	08		低所得者利用者負担軽減措置事業	在宅サービスを利用している低所得者について負担を軽減し、利用の促進を図る。	在宅サービスを利用している低所得者について負担を軽減し、利用の促進を図る。	実績なし 平成26年度末で事業廃止		対象者数	—	—	—	—	E	B	B	B	B	事業完了 利用実績がなかったため26年度末で廃止とした。	廃止	
166	健康福祉部	長寿介護課	03	01	08		介護保険事業特別会計繰出金	介護保険の財政基盤の安定及び適切な介護サービスの供給を行うため、法令に定められた負担割合に応じ、市の負担を行う。	介護給付費、事務費及び地域支援事業の市負担。	負担割合に応じて実施。	521,213	事業費の実績に応じた負担割合	千円	521,214	521,213	531,130	A	A	A	A	A	A	介護保険法で規定されている負担を負うものである。	継続
198	市民経済部	保険年金課	03	01	11		後期高齢者医療事業費	後期高齢者医療事業の安定的な運営のため	①後期高齢者医療事業特別会計繰出金 後期高齢者医療事業の安定的な運営に資するため、事務的経費や保険料軽減分などを後期高齢者医療事業特別会計へ繰り出しを行う。 ②療養給付費負担金 療養給付費の市負担分を支払う経費。	①後期高齢者医療事業の安定的な運営に資するため、事務的経費や保険料軽減分などを後期高齢者医療事業特別会計へ繰り出しを行った。 ②療養給付費の市負担分を広域連合へ支払った。	557,298	現年分収納率	%	99.83	後日	99.84	A	A	A	B	A	A	後期高齢者医療事業の安定的な運営のため、必要な事業である。	継続
199	市民経済部	保険年金課	03	01	11		後期高齢者健康診査事業費	生活習慣病の予防や早期発見、早期治療による健康の保持、増進を図るため	後期高齢者医療制度への加入者を対象に健康診査を実施。	対象者に受診券を送付し、6月から10月にかけて健康診査を行った。	16,012	健診受診率	%	30	29.3	31	A	B	B	A	A	後期高齢者医療被保険者の健康保持、増進のため必要な事業である。	継続	